

# 杉並区地域公共交通計画の概要について

---

第1回杉並区地域公共交通活性化協議会

令和4年3月1日  
都市整備部交通施策担当

# 世界の革新的な交通ビジョン



出典：I B S 牧村先生ご講演資料

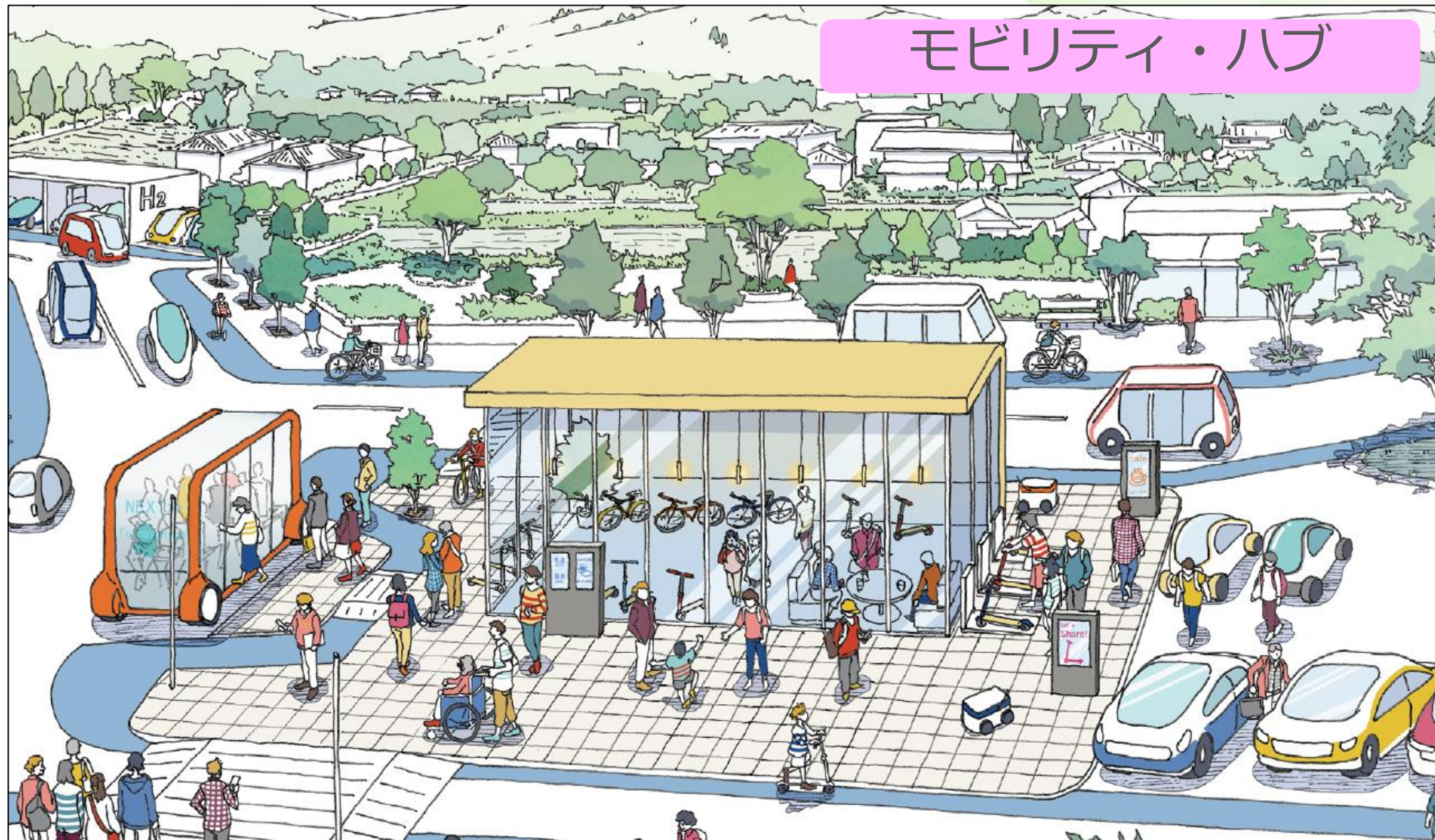
<https://www.city.kobe.lg.jp/documents/14903/miraitoshir011118-1.pdf>

世界中の先進都市では、

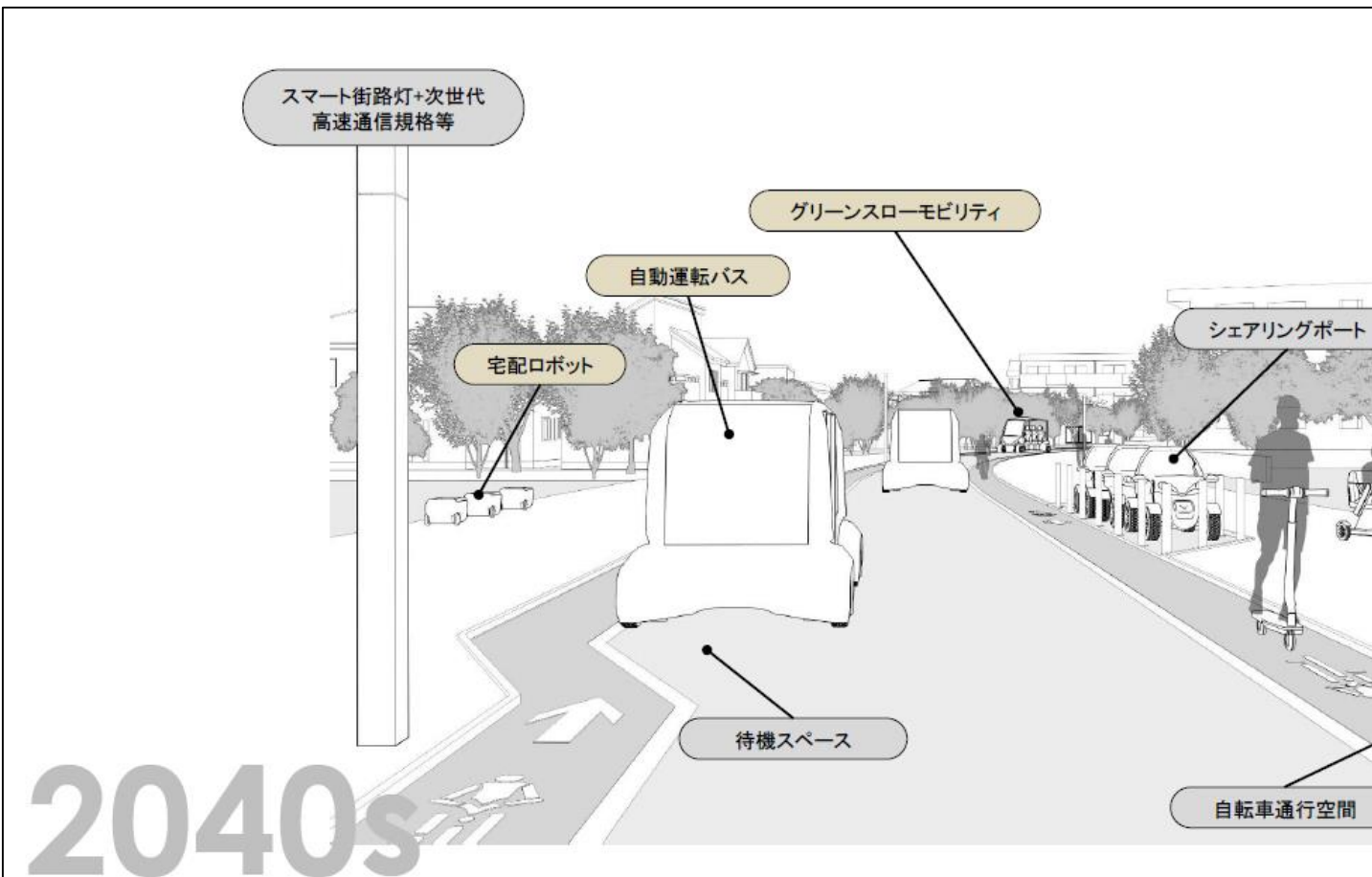
**「脱マイカー」「歩いて楽しい」「公共交通が便利」「人中心の都市」**  
が推進されている！！



# 国内における動向



出典：国土交通省「2040年、道路の景色が変わる」



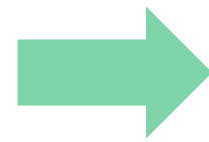
2040年代の自動運転社会実現  
を見据えたビジョンも

出典：  
東京都「自動運転社会を見据えた都市づくりの在り方(案)」



# 交通DX

(デジタル・トランスフォーメーション)



# Beyond MaaSへ

横浜、愛知、北九州、福岡、糸島、  
佐賀、由布院、宮崎、富山、沖縄



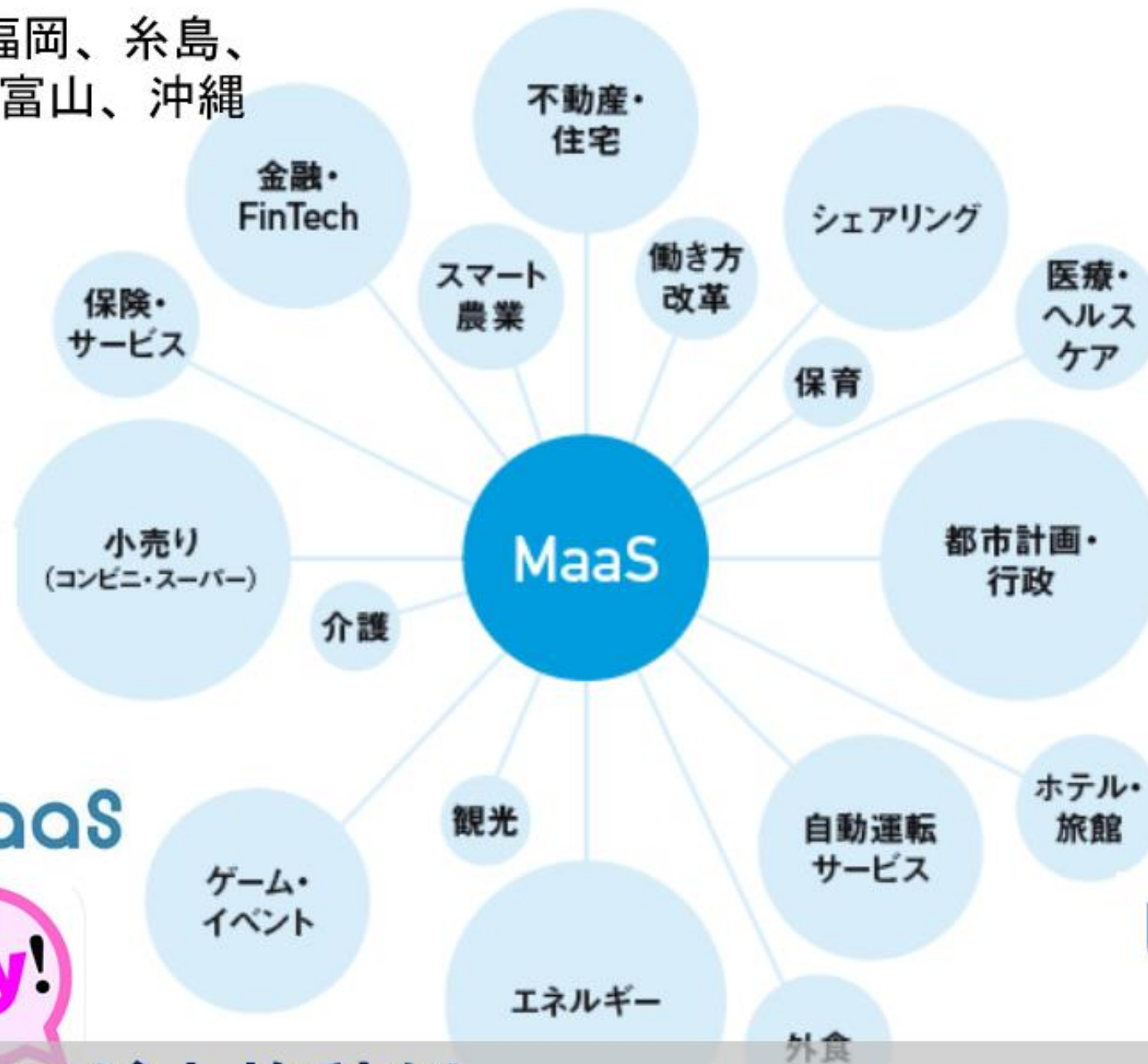
ShareTomorrow



JR東日本



東京メトロ  
**my!**



中国・四国



もっといい「いきかた」



Universal MaaS

～誰もが移動をあきらめない世界へ～

広島、岡山



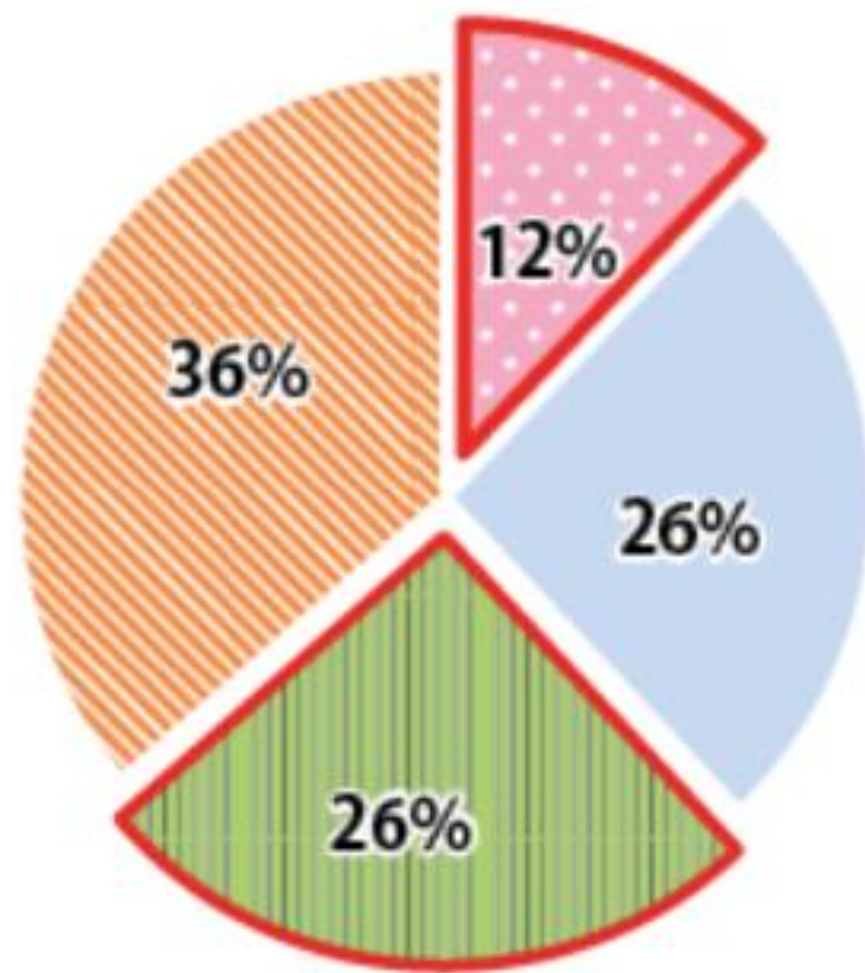
のりまっし金沢



全国各地でMaaSが本格稼働 (実証実験ではない) : 疎密情報 (予報含む)、非接触、トレーサビリティ、代替手段提供など、**ニューノーマル時代に対応**したサービスが、商業、観光、まちづくり等と連携し、続々と登場



## コロナ禍における公共交通



コロナ禍以前から公共交通機関の持続可能性に対する懸念を感じており、より高まった



コロナ禍以前から公共交通機関の持続可能性に対する懸念を感じており、それは変わらない



コロナ禍以前は公共交通機関の持続可能性に対する懸念を感じていなかったが、コロナをきっかけに懸念を感じるようになった



コロナ禍以前も現在も、公共交通機関の持続可能性に対する懸念を感じていない

資料) 国土交通省「国民意識調査」

出典：国土交通白書2021

<https://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/r02/hakusho/r03/html/n1211000.html>

都区内においても、既に公共交通の減便・ダイヤ改正など取組が始まっており、交通事業者の「危機意識」も高い。



# 今後の杉並区における交通の重要性

「人生100年時代」  
安全・安心で利便性の高い移動環境の創出

令和3年10月策定の「杉並区基本構想」や、  
令和4年1月策定の新たな「総合計画」「実行計画」に位置付け

## 1 次世代型交通まちづくりの推進

【重点】

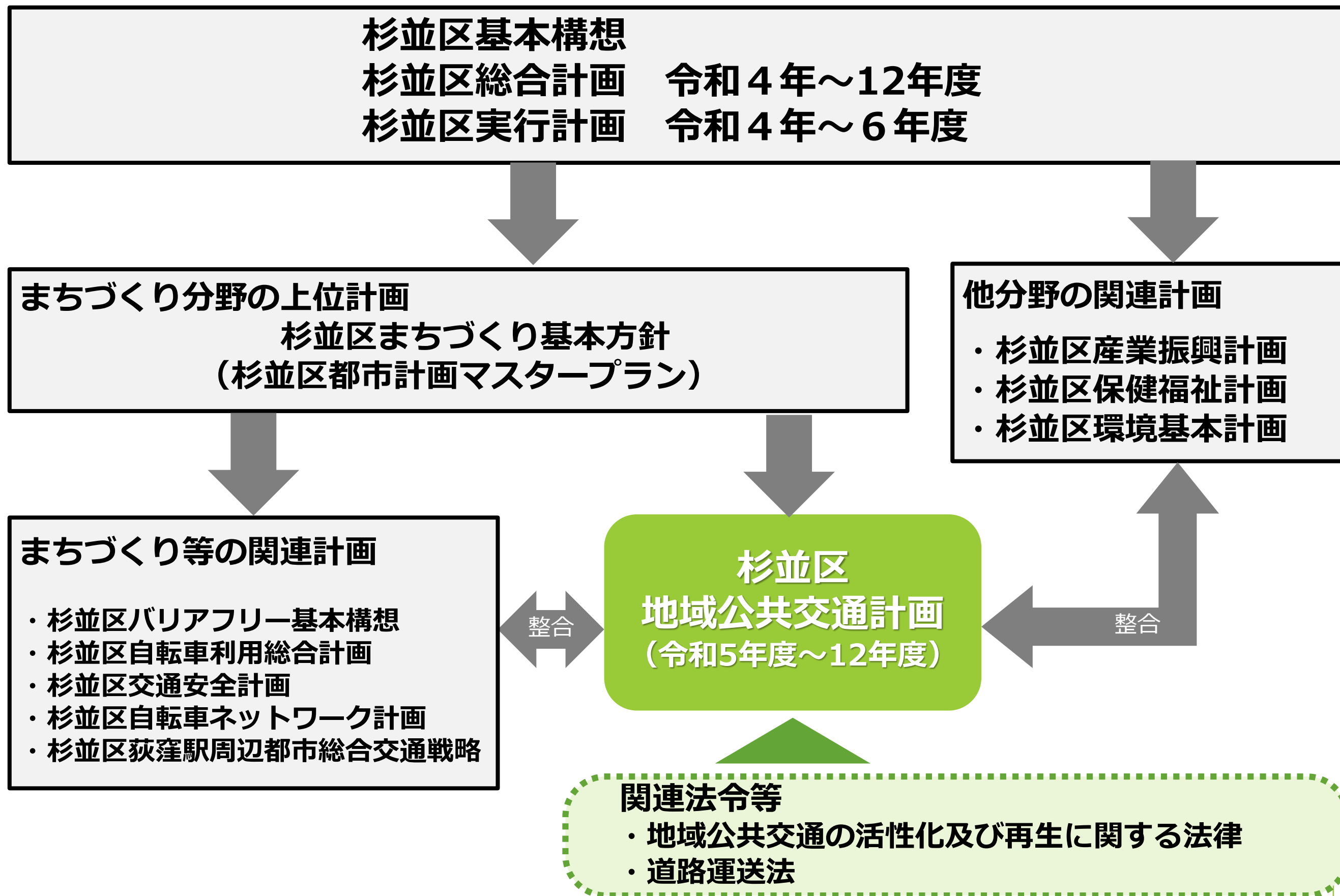
【実行計画から抜粋】

「地域公共交通計画」を策定し、高齢者や障害者をはじめとして、誰もが気軽に快適に移動できる地域社会の実現に向けた取組を推進します。また、MaaS(マース)等の新技術を活用したサービスの調査・研究を行うとともに、シェアサイクルやグリーンスローモビリティ<sup>※1</sup>を導入します。

関連区と協力して、環状八号線を基本ルートとする区部周辺部環状鉄道(エイトライナー)<sup>※2</sup>の早期実現を目指します。

	3(2021)年度末(見込)	4(2022)年度	5(2023)年度	6(2024)年度	3か年計
事業量	地域公共交通計画 検討	地域公共交通計画 策定	地域公共交通計画 運用	地域公共交通計画 運用	地域公共交通計画 策定・運用
	MaaS等の新モビリティ サービス 調査・研究	MaaS等の新モビリティ サービス 調査・研究	MaaS等の新モビリティ サービス 調査・研究	MaaS等の新モビリティ サービス 調査・研究	MaaS等の新モビリティ サービス 調査・研究
	シェアサイクル 事業化検討	シェアサイクル 実証実験	シェアサイクル 実施	シェアサイクル 実施	シェアサイクル 実証実験・実施
	グリーンスローモビリ ティ 実証実験	グリーンスローモビリ ティ 実証実験	グリーンスローモビリ ティ 実証実験	グリーンスローモビリ ティ 実施	グリーンスローモビリ ティ 実証実験・実施
	エイトライナー 調査・研究・調整	エイトライナー 調査・研究・調整	エイトライナー 調査・研究・調整	エイトライナー 調査・研究・調整	エイトライナー 調査・研究・調整

# 杉並区地域公共交通計画の位置付けと計画の期間



# 地域公共交通計画の趣旨と必要性

地方部は  
路線の維持・存続が危機的

地域公共交通計画とは、

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく、**地域旅客輸送サービスの持続可能な提供の確保に資する地域公共交通の活性化及び再生を推進するための計画。**

令和2年11月の法改定により、地方自治体での計画策定が努力義務化となった。

個性豊かで活力ある地域社会を目指して地域が  
**主体的に創意工夫しながらデザインしていくこと**

運転手不足

人口減少

高齢化

デジタル化

新常態化

脱炭素

まだ見えぬ危機



都市部の本区では、「交通事故」「運転手不足」「ニューノーマル」への対応のほか、

**「カーボンニュートラル」「ウォークアブル」の推進など**

**住宅都市としての魅力を高めていく** ために必要



## 法律・補助要綱改正の主なポイント

### 地域の輸送資源“総動員” 公共交通サービスの改善

- 鉄道や路線バス・コミュニティバスなどに加え、福祉バスやスクールバスなども含めた **地域の多様な輸送資源を“総動員”**して、移動ニーズに対応することが求められる。
- 利用者目線による路線・ダイヤの改善等を促進し、**MaaSや新モビリティの導入検討等**を通じて公共交通サービスを改善する。

### 評価・モニタリングの強化

- 計画策定後、**毎年度、施策の状況などを調査し、分析・評価**するよう“努め”、必要に応じて計画を変更することが求められる。
- 実施施策は、**「いつ」「誰が」「何をするのか」**をできるだけ具体的に検討して盛り込んでいく必要がある。

# MaaSの活用（交通と他分野との連携）

## MaaS（マース）とは

**MaaS**：Mobility as a serviceの略。ICT活用によるマイカー以外の移動をスムーズにつなぐ新たな「移動」の概念、または、様々な移動サービスを1つに統合させた新たなモビリティサービス。

## 東京における地域公共交通の基本方針(案)

### ⑤MaaS普及・データ利活用

多数の交通事業者が集中する東京においては、情報技術も最大限活用し利用者利便を向上させるとともに、交通データに基づく都市・交通政策を推進していくことが必要である。

- 交通と他分野のサービスとの連携を行うMaaS等の社会実装に向け、関係者間でデータを共有する仕組みを検討していく。
- (都全域) (令和4年3月 策定予定)

[https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/bunvabetsu/kotsu\\_butsuryu/chiiki\\_koutsu.html](https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/bunvabetsu/kotsu_butsuryu/chiiki_koutsu.html)

本区では、多様な交通手段に**1つのサービス**としてアクセスできるようにする等、一体的な交通サービスの導入が図られるよう検討する。

## MaaSのイメージ



出典：国土交通省HP